

当別町地域公共交通計画
当別町地域公共交通利便増進実施計画

【策定事業概要】

令和 4 年 6 月 2 8 日
当別町地域公共交通活性化協議会

1. 事業概要

【経緯】

- 地域公共交通の維持確保を目的として、平成30年3月に「地域公共交通網形成計画」を策定（～令和4年度末まで）。
- 令和2年11月に「地域公共交通活性化及び再生法」が改正され、従来の公共交通サービスに加え、地域の多様な輸送資源（自家用有償旅客運送、福祉輸送、スクールバス等）も含めた「地域公共交通計画」等が策定可能に。

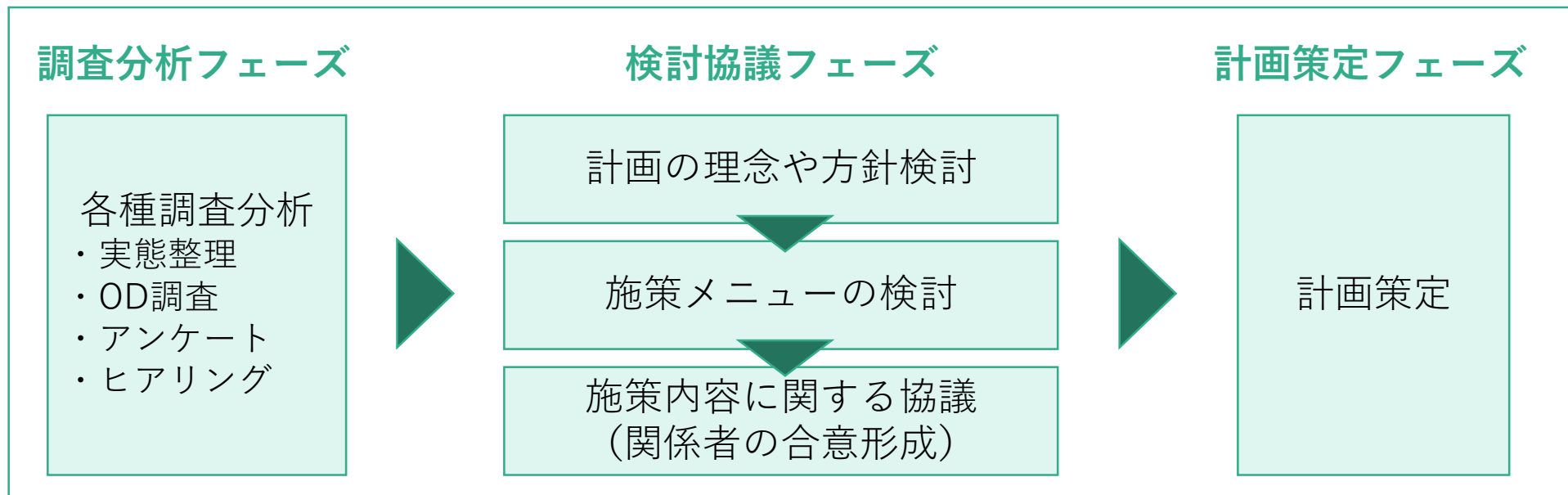
【目的】

- 地域の公共交通サービスを「より便利でより安心なもの」とし、かつ持続可能性を確保すること。

【アウトプット】

- 「地域公共交通計画」＝地域にとって望ましい「地域公共交通の姿」を明らかにする「マスタープラン」。
- 「地域公共交通利便増進実施計画」＝地域公共交通の利便性向上を図る事業を実施する「アクションプラン」。

【策定フロー】



2. 実施項目・実施スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 町総合計画など関連計画の整理			情報収集・整理	とりまとめ						
(2) 地域の概況整理			情報収集・整理	とりまとめ						
(3) 住民アンケート調査	調査設計	調査準備	配布開始	入力集計とりまとめ						
(4) 路線バス利用実態調査	調査設計	調査実施	入力集計	分析とりまとめ			調査設計	調査実施	入力集計	
(5) JR利用実態調査	調査設計	調査実施	入力集計	分析とりまとめ			調査設計	調査実施	入力集計	分析とりまとめ
(6) ヒアリング調査	調査設計	交通事業者ヒア	簡易アンケート	とりまとめ		追加ヒアリング				分析とりまとめ
(7) 当別町地域公共交通計画素案の作成			理念/方針/課題等整理	たたき作成	たたき作成	追加修正等/内部確認/各種協議	追加修正等/内部確認/各種協議	追加修正等/内部確認/各種協議	最終案作成	成案
(8) 当別町地域公共交通利便増進実施計画素案の作成					たたき作成	追加修正等/内部確認/各種協議	追加修正等/内部確認/各種協議	追加修正等/内部確認/各種協議	最終案作成	成案
(9) 当別町地域公共交通活性化協議会での協議	#1(本日)			#2		#3			#4	#5(書面)

調査分析フェーズ

- ・各種調査（6月～8月）に基づいて11月上旬までに、両計画のたたき台を作成。
- ・その後協議会や関係事業者等との意見交換・合意形成、内部確認等を行い、3月末までに成案完成予定とする。

3. 調査内容（案）

(1)町総合計画など関連計画の整理／(2)地域の概況整理

【8月上旬～】

- ・ 総合計画や都市計画、立地適正化計画等との整合を図るために、関連する計画の内容を整理。
- ・ 整理した内容を踏まえて、作成する計画の位置づけを設定。
- ・ 人口動態などの当別町の基本情報について整理。
- ・ 特に人口分布や施設立地状況はGISを用いて可視化して整理。

※（2）地域の概況整理イメージ（網形成計画より）

(2) 人口動態

1) 人口推移

現在の当別町の人口は16,392人（平成29年12月1日時点）である。

昭和63年（1988年）の札幌大圏完成に伴う太美地区の閉鎖によって人口流入が高み、平成11年（1999年）には20,000人を超えたが、以後、減少に転じている。また、国立社会保障・人口問題研究所によると今後も人口減少が進み、平成52年（2040年）には約11,000人になるものと推計されている。加えて、人口減少とともに、少子高齢化も進んでおり、平成47年（2035年）には、老年人口が生産年齢人口を上回ると推計されている。

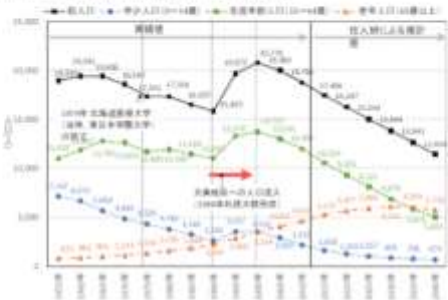


図 8 年別3区分別人口の推移と将来推計

出典：総務省「H27国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計」

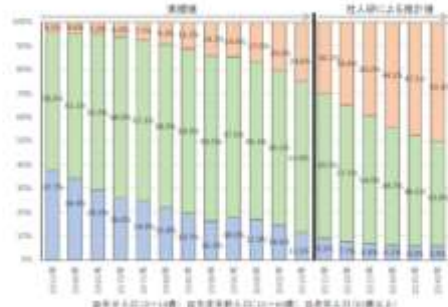


図 9 年別3区分別人口構成の推移と将来推計

出典：総務省「H27国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計」

2) 人口分布

平成27年の国勢調査時点の人口分布（500mメッシュ人口）より、JR石狩当別駅のある本町地区とJR石狩太美駅のある太美地区に人口が二極化している。これ以外のエリアとしては、スウェーデンヒルズ、茂平沢地区に人口集積が見られる。

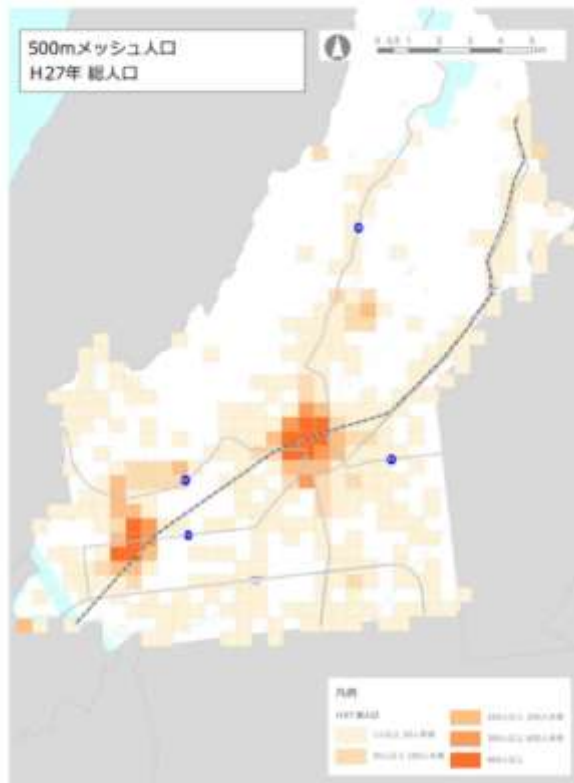


図 10 人口分布（出典：総務省「H27国勢調査」）

2-2 当別町の交通特性

(1) 自家用車の保有状況

平成29年3月末時点の当別町における乗用車登録台数は9,429台となっている。人口当たりの台数は0.573台となっており、北海道平均や隣接する自治体と比べて比較的高い状況にあり、自家用車への依存が高い傾向にある。

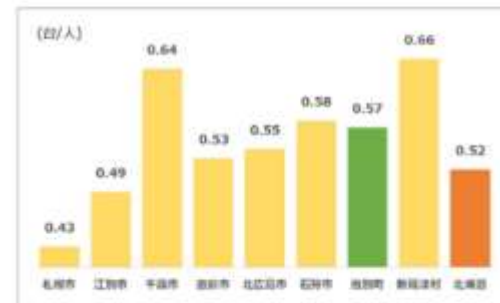


図 13 一人当たり乗用車台数（出典：北海道運輸局「H29年北海道自動車統計」）

3. 調査内容（案） (3)住民アンケート調査 【7月中旬～】

- ・住民の外出実態や公共交通利用実態、QOL（Quality of Life）について整理。
- ・特に、「青山地区」「西当別地区」を重点対象として調査を実施。

※（3）住民アンケート調査 計画一覧

	青山エリア	西当別エリア	その他エリア	合計
地区の総世帯数	278世帯	2,421世帯	5,008世帯	7,707世帯
アンケートの配布世帯数	278世帯 (全数配布)	1,061世帯	161世帯	1,500世帯
(内訳)	青山：13/13 弁華別：76/76 みどり野：154/154 茂平沢：35/35	太美スターライト：261/261（全数） 上記を除く西当別エリア：800/2,160	—	—
配布部数	2部/世帯 計556部	2部/世帯 計2,122部	2部/世帯 計322部	計3,000部
配布方法	郵送配布（一部地域指定郵便を活用）			
回収方法	次の方法を併用 ①返信用封筒 ②WEB回答 ③回収箱設置			
回収目標	125件	477件	72件	675件
調査票	・ 共通調査票 ・ 青山調査票	・ 共通調査票 ・ 西当別調査票	・ 共通調査票	—

3. 調査内容（案）

(4)路線バス利用実態調査 【6月下旬～】

- ・ 路線バスの利用実態・OD（乗車バス停と降車バス停）を把握。
- ・ 調査員乗り込みにより、「ビンゴカード」を配布して調査実施。

※（４）路線バス利用実態調査 計画一覧

	夏期		冬期	
	平日	休日	平日	休日
青山線	2日	2日	2日	2日
あいの里金沢線	2日	2日	2日	2日
西当別道の駅線	2日	2日	2日	2日
月形当別線	1日	1日	1日	1日
市街地予約型線	予約データに基づいて分析			

- ・ 夏期平日：6月28日（火）・29日（水）
- ・ 夏期休日：7月2日（土）・3日（日）
- ・ 冬期平日：1月予定
- ・ 冬期休日：1月予定

※ビンゴカード（案）

アンケートのご協力をお願いします

● 調査実施主体：札幌市交通局公共交通課（事務局：札幌市交通局総務課）
 ● 調査実施機関：一般社団法人北海道新交通センター（住所：札幌市）

このアンケート調査は、道内での公共交通の活性化を促すために、路線バス利用実態を把握することを目的としています。本アンケート調査の結果をご提供いただきたくお願いいたします。
 各質問について 該当箇所を指で折り込み ご回答ください

問1 今回の外出目的

① 通勤・通学 ② 通勤 ③ 買い物 ④ レジャー ⑤ 観光 ⑥ その他

問2 この移動

① 行き ② 帰り

問3 あなたのお住まい

① 本町市街地 ② 中央1丁目 ③ 西条・上出別 ④ 六軒町・みどり町 ⑤ 井里町・新栄町 ⑥ 西戸町・掛川町

問4 乗車支払方法

① 現金 ② 回数券 ③ 乗車券 ④ ICカード（Suica） ⑤ ICカード（Pasmo） ⑥ ICカード（Edy） ⑦ ICカード（其他） ⑧ その他

問5 このバスの利用頻度

① 週5日以上 ② 週3～4日 ③ 週1～2日 ④ 月に数回 ⑤ 年に数回 ⑥ ほぼ乗らない ⑦ 初めて乗った

問6 このバスに乗る前の移動手段

① 徒歩 ② 自転車 ③ 自分の車 ④ 乗客の送迎 ⑤ バス ⑥ JR ⑦ タクシー ⑧ その他

問7 このバスを降りた後の移動手段

① 徒歩 ② 自転車 ③ 自分の車 ④ 乗客の送迎 ⑤ バス ⑥ JR ⑦ タクシー ⑧ その他

問8 あなたのご職業

① 小学生 ② 中学生 ③ 高校生 ④ 専門学校生 ⑤ 大学生 ⑥ パート ⑦ 20歳未満 ⑧ 20～29歳 ⑨ 40～59歳 ⑩ 会社員 ⑪ 公務員 ⑫ 無業 ⑬ 自営業 ⑭ 専業主婦 ⑮ 専業主夫 ⑯ その他 ⑰ 60～64歳 ⑱ 65～74歳 ⑲ 75歳以上

問9 あなたの年齢

① 小学生 ② 中学生 ③ 高校生 ④ 専門学校生 ⑤ 大学生 ⑥ パート ⑦ 20歳未満 ⑧ 20～29歳 ⑨ 40～59歳 ⑩ 会社員 ⑪ 公務員 ⑫ 無業 ⑬ 自営業 ⑭ 専業主婦 ⑮ 専業主夫 ⑯ その他 ⑰ 60～64歳 ⑱ 65～74歳 ⑲ 75歳以上

ご協力ありがとうございました。乗車の際に回収BOX又は調査員へお渡しく下さい。

＜調査員記入欄＞

● 調査日時
 年 月 日 分 秒 乗車の駅名/青山線/西当別道の駅線/月形当別線 行き

● 乗車バス停留所
 乗車 降車

● フリー乗降区間等記載欄（ICカード利用の有無、乗車券の有無、乗車券の種類等）

● その他
 備考

3. 調査内容（案）

(5) JR利用実態調査 【6月下旬～】

- ・ JRの利用実態を把握。
- ・ 各駅にて調査員が目視で利用者数や属性をカウント。

※（5）JR利用実態調査 計画一覧

	夏期		冬期	
	平日	休日	平日	休日
医療大学駅	1日	1日	1日	1日
当別駅	1日	1日	1日	1日
太美駅	1日	1日	1日	1日
ロイズタウン駅	1日	1日	1日	1日

- ・ 夏期平日：6月21日（火）
- ・ 夏期休日：6月25日（土）
- ・ 冬期平日：1月予定
- ・ 冬期休日：1月予定



※カウント記録表イメージ

			中学生以下	学生 (高校生以上)	一般	高齢者
6:00	～	6:10				
6:10	～	6:20				
6:20	～	6:30				
6:30	～	6:40				
6:40	～	6:50				
6:50	～	7:00				
7:00	～	7:10				
7:10	～	7:20				
7:20	～	7:30				
7:30	～	7:40				
7:40	～	7:50				

#	時間	乗降分類	交通手段
1	:	乗車・降車	徒歩・自転車・自動車（送迎含）・バス・タクシー・その他
2	:	乗車・降車	徒歩・自転車・自動車（送迎含）・バス・タクシー・その他
3	:	乗車・降車	徒歩・自転車・自動車（送迎含）・バス・タクシー・その他
4	:	乗車・降車	徒歩・自転車・自動車（送迎含）・バス・タクシー・その他
5	:	乗車・降車	徒歩・自転車・自動車（送迎含）・バス・タクシー・その他
6	:	乗車・降車	徒歩・自転車・自動車（送迎含）・バス・タクシー・その他
7	:	乗車・降車	徒歩・自転車・自動車（送迎含）・バス・タクシー・その他
8	:	乗車・降車	徒歩・自転車・自動車（送迎含）・バス・タクシー・その他
9	:	乗車・降車	徒歩・自転車・自動車（送迎含）・バス・タクシー・その他
10	:	乗車・降車	徒歩・自転車・自動車（送迎含）・バス・タクシー・その他
11	:	乗車・降車	徒歩・自転車・自動車（送迎含）・バス・タクシー・その他
12	:	乗車・降車	徒歩・自転車・自動車（送迎含）・バス・タクシー・その他

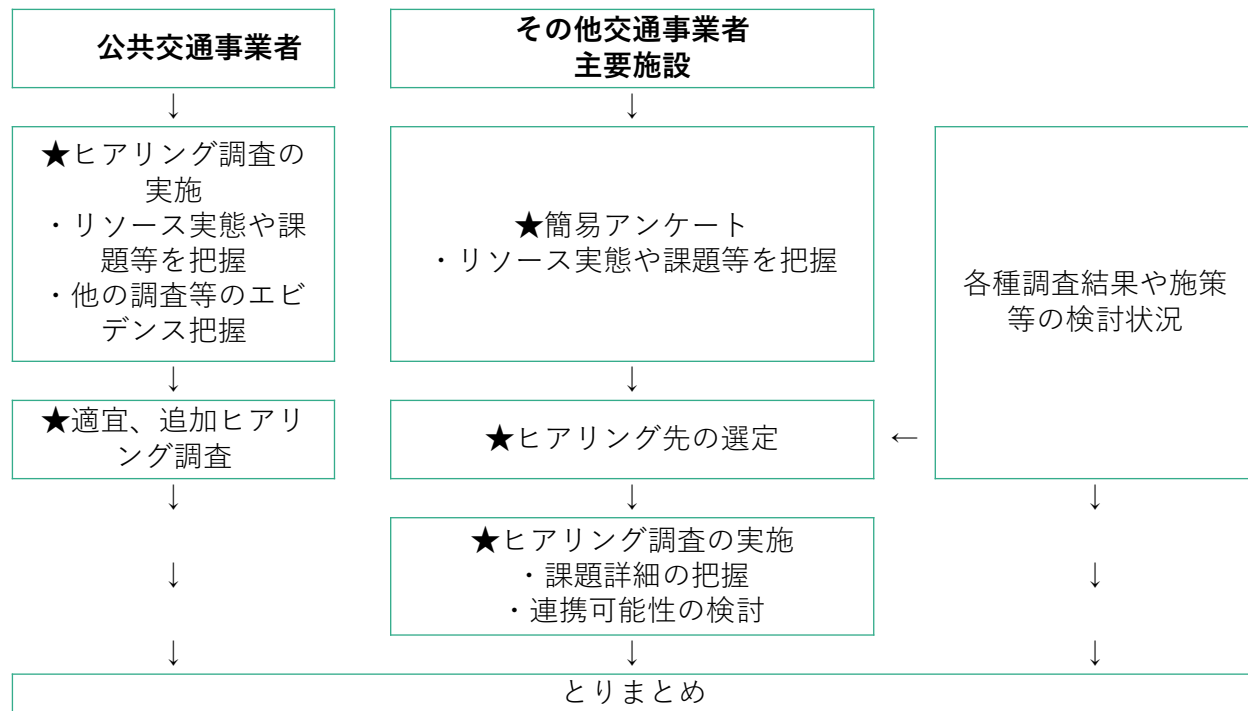
3. 調査内容（案） (6)ヒアリング調査 【6月下旬～】

- ・公共交通事業者4者へのヒアリングで利用実態や課題等について聞き取り
- ・関連する施設や事業者に対して簡易的なアンケートを実施

※（6）ヒアリング調査 対象事業所（案）

公共交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・下段モータース ・山内建材 ・平電気商会 ・JR北海道（当別駅）
その他交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・北成自動車 ・コロカムイ ・ゆうゆう ・福祉協議会 ・NPOまちの森 ・教育委員会
主要施設	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅 ・ロイズ ・サツドラ ・アークス ・商工会 ・学生会館 ・医療大学 ・スウェーデンヒルズ

※実施フロー



4. 計画のイメージ

(例)	ダイヤの見直しで 便利に	経路変更や再編で 便利に	運賃見直しやデジ タルチケット造成	利用促進のバス祭 りを実施	採算性向上の施策 運転手確保の施策	クロスセクター 効果
①地域公共交通計画	●	●	●	●	●	●
②利便増進実施計画	●	●	●	—	—	—

①「地域公共交通計画」＝地域公共交通の「マスタープラン」

- ・どのような理念のもとでまちの交通をつくっていくか・維持していくか →基本理念
- ・どのようにして理念・将来像を実現していくか →基本方針
- ・クロスセクター効果の検証 →地域公共交通の「多面的な効果」を明らかに
- ・調査内容や関連計画を踏まえて、計画を作成

②「利便増進実施計画」＝利便性の向上を図る「アクションプラン」

【想定される施策（案）】

- ・最適な青山線のあり方 →デマンド化？定額タクシーの導入？の検討。
- ・太美エリアの路線 →ロイズタウン駅やスウェーデンガーデンを踏まえて包括的に見直し。
- ・あいの里地区の経路 →需要の大きい経路への見直し。土日祝日の運行（あいの里医療大の発着）の見直し。
- ・運賃のあり方 →運賃や応援券料金の見直し。デジタル（運賃決済や応援券）などの導入の検討。
- ・新技術の導入可能性 →A | デマンドバスや自動運転バスの検討。
- ・継続的な利用促進策 →小中学生の意識醸成、高齢者の免許返納後押し。
- ・目的地との連携強化 →例えば商店等からの賛助金獲得⇄バス停や広告、運賃、回数券の優遇等。
- ・スクールバス混乗や他の交通資源活用の可能性→将来的な連携の可能性も言及。

5. 今後の動き

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 町総合計画など関連計画の整理			情報収集・整理	とりまとめ						
(2) 地域の概況整理			情報収集・整理	とりまとめ						
(3) 住民アンケート調査	調査設計	調査準備	配布開始	入力集計とりまとめ						
(4) 路線バス利用実態調査	調査設計	調査実施	入力集計	分析とりまとめ			調査設計	調査実施	入力集計	
(5) JR利用実態調査	調査設計	調査実施	入力集計	分析とりまとめ			調査設計	調査実施	入力集計	分析とりまとめ
(6) ヒアリング調査	調査設計	交通事業者ヒア	簡易アンケート	とりまとめ		追加ヒアリング				分析とりまとめ
(7) 当別町地域公共交通計画素案の作成			概念/方針/課題等整理	たたき作成		追加修正等/内部確認/各種協議	最終案作成	成案		
(8) 当別町地域公共交通利便増進実施計画素案の作成				たたき作成		追加修正等/内部確認/各種協議	最終案作成	成案		
(9) 当別町地域公共交通活性化協議会での協議	#1(本日)			#2		#3			#4	#5(書面)

まずは調査を実施→住民アンケート内容へのご助言を。
 計画のとりまとめ・たたき台作成ののち、今後の協議会で意見交換へ。